

全国簿記競技大会 2023 優勝者インタビュー

「全国簿記競技大会 2023」の優勝者である山本咲人さん(東京 CPA 会計学院 専門課程の部・優勝)と神田悠さん(東京 CPA 会計学院 高等課程の部・優勝)お二方にインタビューしました。



山本咲人さん

神田悠さん

(1) いつ頃から簿記を学んでいらっしゃいますか？

山本さん

商業高校に入学した時から簿記を続けて学んでいます。簿記を学び始めた最初の印象は、「楽しいな」、というものでした。

神田さん

東京 CPA 会計学院に入学してから簿記を学び始めました。

(2) なぜ簿記大会に出場しようと思ったのでしょうか？

山本さん

学院の先生から、簿記大会のことを薦められて知りました。高校時代にも大会には出場したことがあったので、また出場したいと思いエントリーしました。

神田さん

僕は山本さんから大会の話聞いて、面白そうだと思い出場を決めました。

(3) これまで簿記の大会に参加されたことはありましたか？また、今回の全国簿記競技大会はいかがでしたか？

山本さん

高校の時、簿記部に入っていたので、全国大会にも部で出場したことがありました。ただ、今回は初めての CBT 試験※であったので解きにくいところもありました。仕訳の問題は、紙の試験だと全ての問題を一気に見ることができますが、CBT 試験だと 1 問ずつしか見ることができなかったのが解きにくいと感じました。

神田さん

このような大会は初めて出場したので緊張しました。

大会の勉強のために、紙の問題を解いていたので、試験本番ではいつもと違って戸惑いがありました。また、自分のパソコンじゃないので操作に少し手間取ることもありました。

(4) 簿記大会に向けて、特別な練習などはされましたか？

山本さん

全国簿記競技大会の過去問題を先生方にコピーしていただき、直前までひたすら問題を解きました。仕訳日計表などは、紙でもパソコンでも関係ないので過去問をやっていたことが活かせたと思います。

神田さん

山本さんと同じように過去問題を重点的に解きました。また、覚えるだけでなく、理論的に理解しながら学ぶようにしたことは大会で役立ったと思います。

(5) 優勝できた秘訣は何でしょうか？

山本さん

日頃の積み重ねだと思います。今まで簿記をやってきた時間が、成果に表れていると思います。好きなものほど、上達していくのでそれもあると思います。

本番では、問題をひと目見て、解けそうなところから解き、問題数を多くこなすことを目指しました。

神田さん

今まで学んできた成果が表れたと思います。

試験は、限られた時間の中でどれだけ多く解けるかなので、とにかく問題数を多くこなすようにしました。考える時間を極限まで減らして、ペースを上げて解いていったことが良かったのかもしれません。

(6) お二方とも、税理士試験を目指していらっしゃるのですが、税理士を目指したきっかけなどありましたら教えてください。

山本さん

中学 3 年の時に母から税理士という職業について話を聞き、地域とのつながりが深いということを知って、将来は税理士を目指そうと高校の進路を決めました。

今後は、来年の税理士試験合格を目指し、学びを積み重ねていきます。

神田さん

中学 3 年で進路を考えている時、税理士を目指し東京 CPA 会計学院で学んでいる姉から、簿記の話の話を聞きました。面白そうだと思い自分も同じ学校へ進学して税理士を目指そうと考えました。

来年の税理士試験に向け、授業以外の時間も自学自習しながら、在学中の官報合格達成を目指して学びに励んでいきたいと思っています。

※CBT 試験…パソコン上で回答する試験。